

中学社会科(歴史的分野)

第一章 人類の誕生と古代社会

1. 人類の誕生と古代文明

新石器時代←土器・磨製石器の使用

狩猟から牧畜へ

定住生活(貯蓄 富の発生)

採取から農耕へ

世界四大文明

	エジプト文明	メソポタミア文明	インダス文明	黄河文明
河川	ナイル川	ティグリス川・ユーフラテス川	インダス川	黄河
現国名	エジプト(エジプト共和国)	イラク(共和国)	パキスタン(イスラム共和国)	中華人民共和国
旧気候	地中海性気候	温暖湿潤気候	温暖湿潤気候	温暖湿潤気候
現気候	ステップ	ステップ	ステップ	ステップ
残された文字	ヒエログリフ	楔形文字	未解読	甲骨文字

四大文明の特色

権力者は、治水感慨工事など富を元に強力なリーダーシップを執り、カリスマとして司祭者も務める。

多数の民衆は、権力者のもとで保護される代わりに、納税と労働の義務を負う。

強大な力を民衆にアピール→都市建設・神殿設置・高価な青銅器(ブロンズ)製祭具

→王家が正当な指導者であることを残す記録 文字使用

世界宗教の起こり

貧
病
争

→ 不安・苦からの開放・救済を求める心 宗教の発生

民族宗教

その地域に住む民族だけが救われるとする考え

example...イスラエル:ユダヤ教 インド:ヒンドゥー教(バラモン教)

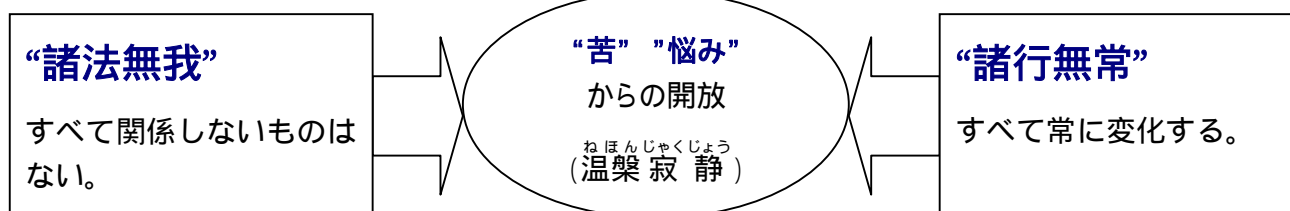
日本:神道(800万の神々を祭る神社信仰) 中国:道教

世界宗教

仏教 開祖ガウタマ(コータマ)=シッダータ (釈迦族の皇太子)

キリスト教 開祖イエス=キリスト 救世主

○ 仏教の考え方



○ キリスト教の考え方

苦を直視するもの－神の愛”**アガペー**”によって救済

《右の頬をたたかれたら右の頬を差し出せ》

中国文明と日本

黄河文明

黄河流域の**黄土（レス）**地帯

黄河→（国づくり）の氾濫の治水に成功した者＝指導者

夏

考古学上最古の王朝

殷

歴史学上最古の王朝

青銅器文化

占いを扱った政治 - **甲骨文字**

周

殷の最後の暴君を倒し建国”**酒地肉林**”

「春秋時代」

《下克上》 実力主義の時代 新しい国づくりの提唱者現る

「戦国時代」

鉄の実用化 鉄製品の普及 農具など

孔子→人間として礼儀正しく行動すれば天下は安らかになる **儒教**

秦

[B.C.221]

始皇帝による中国統一

万里長城修築

滅亡

大農民反乱

漢

都 長安

倭 金印「漢倭奴国王」を賜う

シルクロード「絹の道」

ローマ帝国

中華思想 自分の国が一番、他は野蛮

大農民反乱

「漢倭奴国王」金印

倭

三国鼎立

大農民反乱（黄中の乱）

絹・銅鏡

使者

邪馬台国

女王**卑弥呼**

晋

「魏志倭人伝」

南北朝時代

つづく

つづく